

VARILITE メリディアン取扱説明書



2分割した空気室は、ユーザーが座ることにより簡単に素早く個別に骨盤と大腿のポジショニングを可能にします。メリディアンの前後に分けた空気室は、アンカーサポート効果を得ることで、前すべりや骨盤の後傾・仙骨座りを防ぎます。分割した空気室は、いす上に制限を作ることによるポジショニングと、ユーザーを同じ位置に保つことにより優れたユーザーの姿勢支持を提供することを可能にします。伸展状態または緊張状態の傾向のユーザーは、メリディアンの2つの空気室ポジショニングシステムからの効果を実感されるでしょう。



クッションの使用上の注意(次のことは必ず守ってください)

1. カバーを外してクッション本体だけのご使用は、絶対にしないで下さい。
車いすの座布を留めているネジの頭などで、本体をキズつけてしまいます。かならず、カバーをしてご使用下さい。カバーの下面は厚い滑り止めコーティングが施されており、本体を保護するようにできております。
2. 使用者が座ってからバルブを開きクッション内の空気を適度に抜きますが、調整したら必ずバルブをしっかりと閉めて下さい。バルブを開けたままですと、空気を利用した優れた体圧分散効果がなくなり、一般的なクッションと変わらなくなります。また、空気の調整をした後は、必ず坐骨や仙骨の下に手を差し入れて空気が残っているかを確認して下さい。
3. 他のクッションから VARILITE クッションに交換すると、車いすに多少の調節が必要となります。車軸の位置、バックサポート、フットサポート並びにアームサポートの位置をチェックして下さい。
4. クッション本体に穴をあけてしまう危険性があることは絶対にしないで下さい。
[例：安全ピンなど鋭利なものをクッションの近くで使用することなど。]
5. カバーを外し洗濯されクッションをカバー内に戻す時に、クッションの向きを決して間違えないで下さい。クッションの方向を間違えますと、安定が悪いだけでなく、二次障害を引き起こす危険があります。

1) クッションをご使用になる前に



クッションの向きに注意：カバーの持ち手が付いている方を体の前面にして下さい。本体は上下をひっくり返しても使用できます。ひっくり返す場合は、カバーのファスナーを開けクッションを取り出し、本体をひっくり返してからカバーの中に戻します。カバーのファスナーを閉める前に、バルブがカバーのバルブ用の穴にきちんと差し込まれているのを確認して下さい。

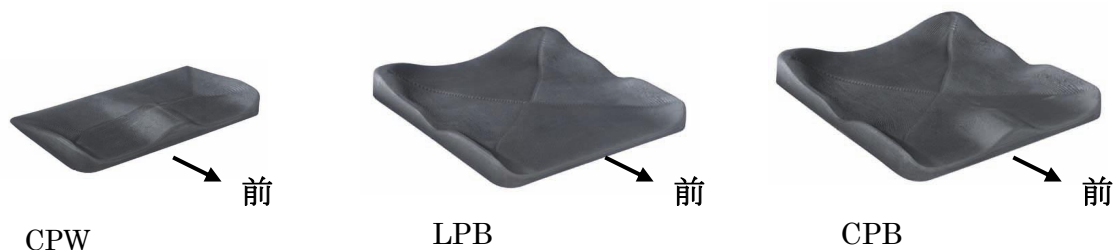
※ **ご注意：**カバー内へのクッションの出し入れには、上生地裏側に張り合わせてあるエアフィルターフォームなどを傷つけず、しわをのぼして、丁寧に扱って下さい。また、クッション内の空気を少し抜いてから行くと楽に出来ます。

! **本体の向きに注意：**本体の向きを間違えるとメリディアン性能が発揮できないだけでなく、違和感もあり、座位保持ができません。初めてご使用になる時は、必ずカバーのファスナーを開け本体が正しい向きになっていることを確認して下さい。

! **メリディアンウェーブの場合、ベースの向きに注意：**
(メリディアンには、ベースは付いていません。)

メリディアンウェーブをご使用の場合、カンツァードベースの向きにご注意下さい。

洗濯後などでカバーを戻す時は、カンツァードベース、クッション本体、カバーの向きが間違えていないかを必ず確認して下さい。

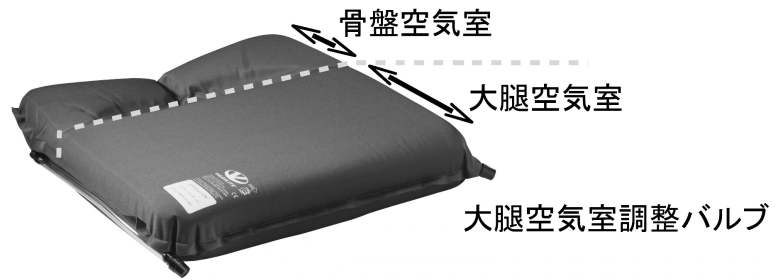


2) 車いすにクッションを固定する

メリディアンクッションのカバー底部には滑り止めのコーティングがしてあります。底部が汚れて滑り止めが効かなくなりましたら、アルコールを染ませた布で拭いて下さい。固定をしたい時は、雄側のベルクロテープ(5cm 角)を車いすの座布に縫い付けて下さい。5cm 角の雄側ベルクロテープを使用されないときは、取り外してご使用下さい。接着面の保護離剥紙が付いたままのご使用は、クッションが滑りやすくなります。

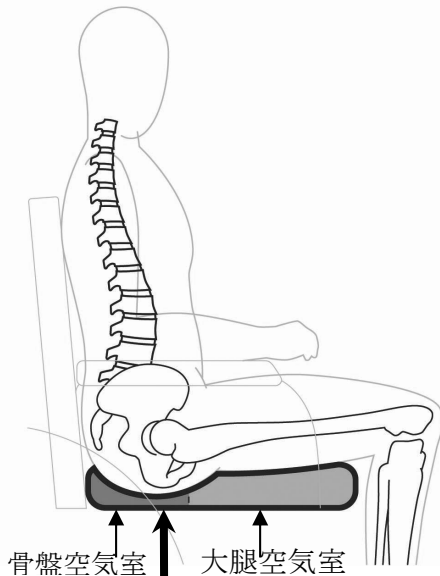
また、車いすにクッションを固定するときに、クッションの向きに気をつけてください。クッションの向きは、カバーの前方向を示すために『FRONT』表示と持ち手が有ります(先の項でカバー内のクッションの向きを間違えていないことも大切です)

3) クッションを最適圧まで下げる



骨盤空気室調整バルブ

【 空気量調整手順 】



座骨の下に 15mm 位の空気を残すのが目安。

1. クッションに負荷を掛けない状態で、骨盤空気室調整ホース付きバルブ（後ろ側）・大腿空気室調整バルブ（前側）を開けてクッション内の空気を満たす。十分に空気を満たしたらバルブを閉める。

（後ろ側用のバルブにはホースが付いています）

2. クッション上に正しい姿勢で座り、①はじめに前側用のバルブを少しづつ開き、太ももの下側へ適度な圧力が掛かるように調節する。②次に後ろ側用のホース付きバルブを開けてクッション内の空気を少しづつ抜く。このとき、座骨部下の空気とフォームを合わせた厚さが約 15mm（指 1 本分目安）になったらバルブを閉じる。〔座骨を最大限に沈み込ませて最適な圧力分散を得るようにする〕

③ 骨盤空気室の調整が終わりアンカー部分の負荷が気になる場合は、もう 1 度前側用のバルブをほんの少し開け、大腿空気室の空気を抜き、座骨前側のアンカー部分の負荷を適度にする。

〔独立した大腿空気室は、大腿への負荷を増やし座骨への圧力を減らすことができる上に、座骨部分のアンカーサポートを柔らかい空気室で造り、前すべりを防止します〕

3. 上記の作業は最適な状態が得られるまで、何回繰り返しても結構です。一気に空気を抜かず、細かく何回も行う方が調整しやすいです。

※ご注意:クッションをひっくり返してご使用の場合は、調整バルブの関係が左右逆になります。

4) 洗濯方法の注意

クッション本体:

洗濯機での洗濯はできません。 中性洗剤で手洗いをして下さい。本体のバルブがしっかり閉まっている事を確認し、 柔らかい布を使いぬるま湯で洗って下さい。 本体には、絶対に熱湯（65℃以上）をかけてはいけません。 本体を包んでいるナイロン生地の圧着部分の接着剤が剥がれる危険があります。洗濯後は、表面とバルブを布で拭いて陰干しして下さい。

カバー:

中性洗剤を使用して洗濯機で洗えます。ただし、ファスナー部分が破損しないよう、また肌に密着する表地はデリケートにできていますので、洗濯ネットに入れてから洗って下さい。脱水機はご使用できます。しかし、絶対に乾燥機はご使用しないで下さい。高温では、接着剤が剥がれたり、生地が変形する危険があります。乾燥は、裏返して陰干しをして下さい。エアフィルターのをしっかりとのぼして下さい。

5) 修理

磨耗を防ぐ為、メリディアンクッション本体には丈夫なナイロンに厚いウレタンコーティングが施してあります。メリディアンは機密性の高い製品であります非常に起伏の多い形状でありますので、穴があいたり、切れたり、燃えたりすることがないとは言えません。空気漏れをチェックするには次の方法で一晩テストすると良いでしょう。

一日の終わりに、バルブを開いてクッションを絞り（右図参照）空気をすべて逃がします。その状態でバルブを閉めて数日間放置し、もしクッションが膨らんで来ているようなら、クッションが空気漏れを起こしている証拠です。（夜の中にクッションが、穴の開いている場所から空気を吸い込んでいる状態です）

このような場合は、ご購入、もしくはレンタルを頼んだお店に修理を依頼して下さい。



6) バルブを開けてもなかなか空気が入らない場合は、下記を読んで実行してください。それでも、入りが悪い時はご購入、もしくはレンタルされたお店または弊社へご連絡下さい。

おしりの横幅より小さいサイズや、空気を極限まで抜いて長期間使用しますと、バルブを開いても戻りが悪い場合があります。これは密度の高い特殊フォームを使用している為であり、材質のへたりではなくフォーム内の気泡がくっついている状態です。

このようなときは、

- ① バルブを開け2分間たってからバルブを閉めて下さい。
- ② バルブがついている前側からクッションを丸め、後ろ側へ強制的に空気を送り込んで下さい。
- ③ 完全に後ろ側が膨らみましたら、クッションを広げもう一度バルブを開きます。今までより空気が入ります。
- ④ 全体が復元するまで1から3を繰り返して下さい。
- ⑤ それでも入らないときは、口から息を吹き込んで下さい。この時、唾液などの水分が中に入らないように気をつけて下さい。
- ⑥ 長期間使用しますと、ご使用者の身体になじみ完全に膨らまない場合もあります。全体の60%まで膨らめばご使用に問題はありません。